

「トランプ大統領をノーベル平和賞に推薦した安倍総理を  
どう思いますか？」

平成 31 年 2 月 20 日

●チーム西田からの質問

最近、「トランプ大統領にノーベル平和賞を受賞させてはどうか、ということ  
を安倍総理が推薦してくれた」とトランプ大統領が発言し、その真偽  
が国会で話題となっておりますが、西田先生はどう思いますか？

●西田昌司の答え

真偽のほどはわかりませんが、そのようなことを公言すること自体が非常  
識であります。

首脳同士の間で話した内容については当然ながら表に出して良いこととそ  
うでないことがあります。ノーベル平和賞の推薦といった内容は表に出す  
べきではないことは言うまでもありません。今回の件でも明らかのように、  
トランプ大統領は非常識極まりない人物でありますし、これまでの政治家像  
とかけ離れた乱暴な振る舞い（国境に壁を作る等）によって世界中で強い反  
発を買っています。

北朝鮮の核の脅威に一番さらされているのは日本ですが、日本はアメリカ  
と協調しながら北朝鮮の核問題に立ち向かわなければなりません。トランプ  
さんのような人物がアメリカ大統領であることは変えることのできない事実  
でありますし、安倍総理は好むと好まざるとにかかわらずトランプ大統領と  
話をしながら前に進んでいかなければならないのです。トランプ大統領をは  
じめとする世界中の難物を相手にして日本の国益を守るための外交を展開す  
る安倍総理の御苦勞は大変なものでしょうし、同情も尊敬もいたします。

そうは言っても、トランプさんが大統領になったことで良くなったこともありますし、去年の（史上初の）米朝首脳会談は日本にとっても良い結果をもたらしています。会談前、北朝鮮は日本に向けた（将来における核搭載ミサイル発射のための）ミサイル発射実験を毎週のように何度も行っていましたが、会談後は（非核化の道筋が立っていないといえども）そのような事態は一応収まっています。私は今、参議院自由民主党国会対策委員会の委員長代行を務めています。北朝鮮が実験を行うたびに国会対策委員メンバーや（幹事長等の）主要メンバーが党本部に集まって緊急事態に備えるといった緊迫した空気の中にいました。トランプ大統領就任後のこのような変化については大いに評価すべきと思います。

野党やマスコミは、トランプ大統領のような世界に対立をもたらしている人物にノーベル平和賞を推薦するとは安倍総理の見識を疑う、といった論法で安倍批判の格好のネタにしていますが、そんなトランプ大統領を相手にするという大変な仕事を安倍総理がされているという点を是非ともご理解ください。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>